

新訂 大学博物館事典 —市民に開かれた知とアートの ミュージアム



伊能秀明 監修 A5・630頁 定価13,200円(本体12,000円+税10%)
ISBN978-4-8169-3032-4 2024年12月刊行

全国の大学ミュージアムの最新情報を紹介

- 総合・歴史・美術・自然史・服飾・楽器・工業科学・植物園・水族館等、さまざまな館種の大学博物館を紹介する事典。『大学博物館事典—市民に開かれた知とアートのミュージアム』（2007.8刊）の新訂版。新設・リニューアル館含め、全国144大学・短期大学等が設置する187館を収録。
- 全館にアンケート調査を行い、沿革、展示概要、利用条件、刊行物・グッズ等の最新情報や外観・館内写真も掲載。大学博物館ならではの収蔵資料や教育・調査研究活動も紹介。
- 本文は都道府県別掲載。巻末に大学名から引ける「設置者名索引」、分野名やコレクション等から引ける「事項名索引」付き。

■掲載事項■

館名、英語館名、沿革・概要、収蔵品・展示概要、収蔵分野・総点数、主な収蔵品／コレクション、展示テーマ、教育活動、調査研究活動、出版物・グッズ、メッセージ

所在地、TEL、FAX、URL、E-mail、交通、開館時間、観覧所要時間、入館料、休館日、利用条件、施設(建物・面積等)、車椅子の貸出・バリアフリー・無料ロッカー・駐車場・他言語表記のリーフレット等、ミュージアムショップ等の有無、今後3年間のリニューアル計画、館種、設立年月日、設置者、管理・運営者、責任者、組織

【監修者プロフィール】

伊能 秀明 いよく・ひであき

法制史料研究者 法学博士(法史学専攻) 1953年群馬県生まれ
早稲田大学法学部卒業。明治大学博物館事務長、中央図書館事務長、明治大学調査役、私立大学講師・客員教授などを歴任。2006年度財団法人日本博物館協会顕彰、2023年延岡市市政功労者。
主要編著書：『法制史料研究』1～4 『大江戸捕物帳の世界』『近世法制実務史料 官中秘策』『火裏蓮華』の郷土史家 小嶋政一郎 など

■収録館例■ *改訂版 新規掲載館

- ◇北海道大学北方生物圏フィールド科学センター植物園
- ◇弘前大学資料館*
- ◇東北大学総合学術博物館(理学部自然史標本館)
- ◇秋田大学大学院国際資源学研究所附属鉱業博物館
- ◇山形大学附属博物館
- ◇生活文化博物館[郡山開成学園]*
- ◇上武大学絵手紙ギャラリー&ミュージアム*
- ◇大東文化大学ピアトリクス・ポター™資料館*
- ◇共立女子大学博物館*
- ◇國學院大學博物館
- ◇津田梅子資料室
- ◇帝京大学総合博物館*
- ◇東京科学大学博物館
- ◇東京藝術大学大学美術館
- ◇武蔵野音楽大学楽器ミュージアム
- ◇早稲田大学坪内博士記念演劇博物館
- ◇日本歯科大学 医の博物館
- ◇富山大学薬学部附属薬用植物園
- ◇信州大学自然科学館*
- ◇静岡大学キャンパスミュージアム
- ◇中部大学民族資料博物館
- ◇滋賀大学経済学部附属史料館
- ◇京都大学総合博物館
- ◇龍谷大学 龍谷ミュージアム*
- ◇大阪樟蔭女子大学田辺聖子文学館*
- ◇大阪大学総合学術博物館
- ◇神戸大学大学院海事科学研究科海事博物館
- ◇島根大学総合博物館アシカル
- ◇広島大学総合博物館*
- ◇人体解剖と骨のミュージアム[徳島大学]*
- ◇愛媛大学ミュージアム*
- ◇佐賀大学美術館*
- ◇熊本大学工学部研究資料館
- ◇琉球大学博物館(風樹館)

■「内容見本」は裏面をご覧ください■

202411

お問い合わせは… 日外アソシエーツ 営業局

TEL.03-3763-5241(代) FAX.03-3764-0845
〒140-0013 東京都品川区南大井6-16-16 <https://www.nichigai.co.jp/>

注文書	<p>新訂 大学博物館事典 —市民に開かれた知とアートの ミュージアム</p> <p>定価13,200円(本体12,000円+税10%) ISBN978-4-8169-3032-4</p>	冊	<p>取扱書店</p>  <p>9784816930324</p>
-----	--	---	--

「新訂 大学博物館事典
—市民に開かれた知と
アートのミュージアム」
内容見本

収藏品・展示概要
教育活動、調査研究活動
出版物・グッズ など

の企画展・特別展を開催している。その借用や指定文化財の展示も実施している

【収蔵分野・総点数】

考古・神道・校史の分野を中心に、約

【主な収藏品／コレクション】

深鉢：火焰型土器（新潟県長岡市岩野二子塚古墳・重要文化財）、『年中行事絵巻現』、有栖川宮家・高松宮家ゆかりの品など

【展示テーマ】

企画展「祓一儀礼と思想—」（2023）、『全54帖公開—』（2023）、企画展「沖縄復興・沖縄学と國學院」（2022）、特別展「を結ぶ書物—」（2021）、企画展「縄文時代プロジェクトの研究成果—」（2021）

【教育活動】

展示解説動画をYouTubeチャンネルで公開。「伊豆の神々と火山を語る」：伊豆の島々— イベント（2023）、「出会う」（2023）、狩衣着付け体験による公演「夏の雅楽～星詠み」など

【調査研究活動】

本学学術資料センター（校内資料の調査・再整理など）

【出版物・グッズ】

『出版物』資料で見る神道史『グッズ』折紙・塗絵帖「高倉キャンバストート

所在地
交通
施設情報
メッセージなど

東京都

沿革・概要

國學院大學博物館

館名

Kokugakuin University Museum

当館は、日本文化の講究に必要な文化財を収集・保存し、学術的な研究成果を一般に公開するとともに、広く学内外の研究教育活動に資することを目的として設置された大学博物館である。その淵源は、1928（昭和3）年創立の考古学標本室（後の考古学資料室・考古学資料館）と、1963（昭和38）年創立の神道学資料室（後の神道資料展示室・神道資料館）にあり、両組織を統合した学術資料館や、伝統文化リサーチセンター資料館の設置を経て、2013（平成25）年に國學院大學博物館が発足した。

常設展では、校史・学術資産研究センターの所管資料を交えながら大学の歩みを辿り、考古学から見た日本列島の歴史を通観した上で、神道と日本文化に対する理解を深めていくことができる。また、論文形式に拠らない研究発表である特別展・企画展や、各種の教育普及事業、博物館連携事業などを通して、社会に開かれた大学の窓口としての役割も担っている。

【収藏品・展示概要】

展示は「考古学」「神道」「校史」の3つの常設展のほか、年間に6～7回



- ・所在 東京都渋谷区三軒茶屋
- ・TEL 03-3493-1111
- ・FAX 03-3493-1112
- ・URL <http://www.kokugakuin.ac.jp/museum>
- ・E-mail museum@kokugakuin.ac.jp
- ・交通 渋谷駅より徒歩またはバス 渋谷駅（JR山手線・地下鉄・京王井の頭線・東急各線）から徒歩約13分
- ・開館 AM10:00～PM6:00（最終入館PM5:30）
- ・観覧所要時間 1時間
- ・入館料 無料
- ・休館日 不定期
- ・施設 展示室1613.99㎡ 考古収蔵庫303.87㎡ 神道・校史収蔵庫277.88㎡ 博物館事務室162.00㎡ 展示準備室81.0㎡ 撮影室36.75㎡ ほか
施設内外 バリアフリー／車椅子の貸出あり／バリアフリースイッチあり
無料ロッカーあり／駐車場なし
他言語表記のリーフレット・解説書あり
ミュージアムショップ・レストランあり
- ・館種 私立大学、博物館、歴史・考古・民俗
- ・設立 1928（昭和3）年 考古学標本室として
- ・設置者 國學院大學
- ・責任者 館長・笹生衛（神道文化学部教授）
- ・組織 専任教員7名、専任職員2名、専任学芸員2名

メッセージ

「考古と神道で知る日本の文化と歴史」